

新横浜駅前公園に レインガーデンを設置しました！

18区初のモデル事例です！

新横浜町内会と港北区は協定を締結し、都市型豪雨対策に都市緑化を活用する「グリーンインフラ」のモデル事例として、新横浜駅前公園にレインガーデン（※）を設置しました。

11月3日（土）に関係者見学会を実施します。

（※）周辺の雨水を取り込んで一時的に貯留し、時間をかけて地下に浸透させる花壇

設置理由

横浜市では、花・緑・農・水をいかした魅力と活力あふれるまち「ガーデンシティ横浜」を推進しています。

また、「横浜市中期4か年計画2018～2021」等で、新横浜都心、日吉・綱島地区を中心としたエリアが環境モデルゾーンに位置付けられています。

このことから、港北区内の横浜国際総合競技場で、ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることを契機として、港北区及び横浜市の取組の国内外への発信に繋げるため、レインガーデンを設置します。

レインガーデンの設置効果

レインガーデンはグリーンインフラとして機能し、気候変動の影響等による大雨の被害を軽減する適応策の一つです。設置効果の例は次のとおりです。

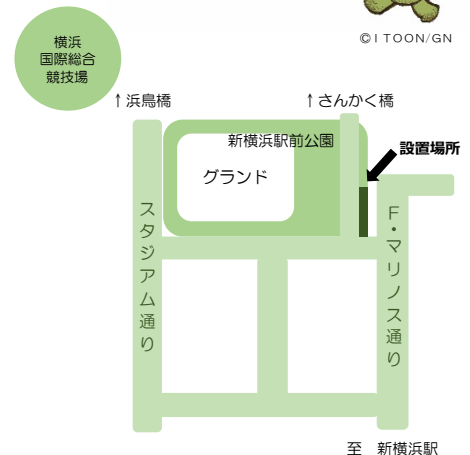
- ・レインガーデン周辺道路の雨水を取り入れることで、大雨時の道路冠水を防ぎます
- ・レインガーデンの土が、ろ過装置となり綺麗な水が作られ、地下水が増えます

《関係者見学会概要》

- 1 日時 11月3日（土） 11時～11時半頃（予定）
- 2 場所 新横浜駅前公園（港北区新横浜二丁目16-1）

※当日取材にお越しいただける場合は、11月2日（金）までに御連絡ください。

当日の御連絡は、港北区区政推進課 田村（090-6162-2324）までお願いいたします。



レインガーデンイメージ図

お問合せ先

港北区区政推進課長 山本 憲司 Tel 045-540-2220